

原案

飯山市教育大綱

飯山市教育振興基本計画

(28年度～32年度)

(例)

- 未来に^{ひら}拓げ子ども達、力蓄え、春に花咲く菜の花のように
- 確かな学力、たくましさ^と郷土愛あふれる人づくり

2015年(平成27年)12月

長野県飯山市

はじめに



市長あいさつ

平成27年12月
飯山市長 足立 正則

目次

1	大綱策定の趣旨	-----	2
2	大綱等の期間	-----	2
3	飯山市教育の目指す姿（柱）	-----	3
4	飯山市教育大綱の5つの柱	-----	4
5	飯山市教育施策体系（具体的施策）	-----	6

1 大綱策定の趣旨

本大綱は、教育基本法に定める教育振興基本計画である『飯山らしい学校教育計画』『飯山らしい社会教育計画』の継承と、総合計画が示す教育の目標に基づき、飯山市教育の目指す姿を示すものです。

『飯山市第5次総合計画』では、「たくましさ」と郷土愛を育てる教育」を目標とし、『飯山らしい学校教育』では、目指す児童生徒像として「自分の考えで判断行動し、たくましく生きる力をもつ」「ふるさとに誇りと夢をもつ」「知・徳・体の調和のとれた豊かな人間性を備える」の三つを掲げ、『飯山らしい社会教育』では、基本理念として「地域資源を創造的に活用するチャレンジ精神旺盛な人材を育て、協働して夢と活力に満ちた住みよい地域社会を目指す」としています。

学校教育のキーワードは、『たくましく生きる力』『ふるさと教育』『豊かな人間性』です。

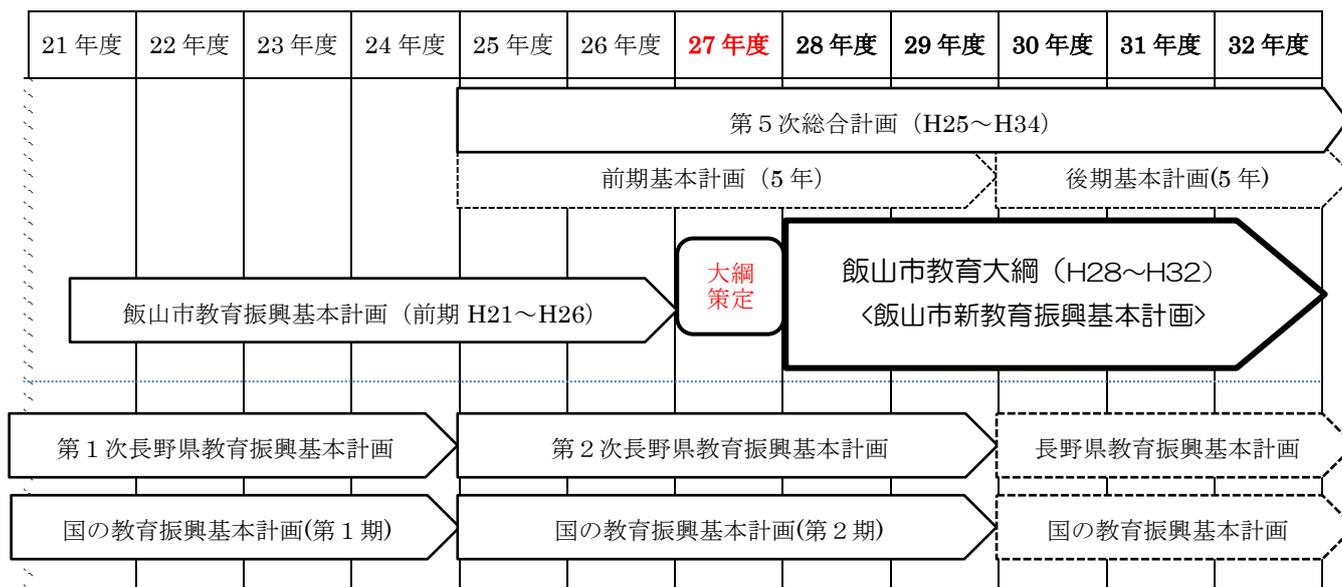
この三つの力を、幼児期から高校卒業までに育成し、『15の選択』『18の選択』時に自分が望む道を切り開き、社会に送り出せる人間力を育成することが、飯山市学校教育の目指す姿です。

そして、子どもを育てるためには学校・家庭だけでなく地域の方々の支援も必要ですし、大人が学ぶ社会教育を充実させることも重要で、それを支えるための行政支援が大切です。

子ども達に様々な教育の場を設け、大人が連携しながら子どもとともに学び、生涯学習・生涯スポーツに取組み、共に成長しつづけるための指針づくりが飯山市【大綱】策定の目的です。

2 大綱等の期間

この大綱の期間は、平成28年度（2016年度）から平成32年度（2020年度）までの5年間です。第5次総合計画、飯山市教育振興基本計画等との関係は以下のとおりとなります。



3 飯山市教育の目指す姿(柱)

【飯山市総合計画基本構想】では『たくましさ郷土愛を育てる教育』を目指し

- 地域の自然や生活、歴史や文化の学習、スポーツを通して、豊かな感性と郷土愛を育て、学校と地域・保護者が連携して、自らの夢を実現し、世界に挑戦するたくましい児童生徒の育成を目指すためのより良い教育環境の整備。
- 地域と一体となって大人も子どももふるさとに誇りと愛着を持つ教育の推進
- 国際交流等を通じて、幼少期から国際感覚を養うための教育の推進
- 新しい時代に生きる児童生徒の確かな学力向上の推進
- 個性や多様性を尊重し、全ての人が互いに支え合いながら、共に生きることができるとともに、社会実現の推進を掲げています。

【飯山市教育振興基本計画（飯山らしい学校教育）】では『目指す児童生徒像』として

- 自分の考えで判断行動し、たくましく生きる力をもった児童生徒
- ふるさとに誇りと夢をもつ児童生徒
- 知・徳・体の調和のとれた豊かな人間性を備えた児童生徒を掲げ
 - 分かる授業の実現、確かな学力向上を進める環境づくり
 - ふるさとへの関心や愛着を育てる教育の推進
 - 地域の力や願いを学校教育に生かす取組の推進
 - 子どもの夢を育てるための環境づくり
 - スポーツを通して健康でたくましい心身育成を図る
 - 安心安全の学校や子どもの居場所づくりの六項目を具体策としています。

また、【飯山市教育振興基本計画（飯山らしい社会教育）】では

『地域資源を創造的に活用するチャレンジ精神旺盛な人材を育て、協働して夢と活力に満ちた住みよい地域社会を目指す』ことを基本理念として

- 社会の変化に対応した学習の基礎を作る
- 地域に学び、協働の活動により地域を創る
- 地域、家庭、学校が連携して教育力の向上を図るの三項目を柱としています。

これら、飯山市総合計画及び飯山市教育振興基本計画を受け継ぎながら、飯山市教育の

【目指す姿(柱)】を以下の五項目とします。

対象：小中学生を中心に、幼児から大人まで

- 1 夢に向かい、自分の道を切り開き、たくましく生きる力を育てる教育の実践
- 2 ふるさとを知り、ふるさとを愛する地域に根ざした教育の実践
- 3 国際感覚を養い、新しい時代に生きる力を育てる教育の実践
- 4 個性や多様性を尊重し、共生社会をつくるための豊かな人間性を育てる教育の実践
- 5 地域・家庭・学校が連携して教育力を高め、地域に学ぶ生涯学習の実践

4 飯山市教育大綱の5つの柱

(1) 夢に向かい、自分の道を切り開き、たくましく生きる力を育てる教育の実践

子ども達が、夢に向かい自分の道を切り開くには、中学校卒業時の「15歳」と、高校卒業時の「18歳」で、自分の道を自由に選択できるだけの資質を身につけることが重要です。

その資質とは、学力であり、スポーツを楽しむ文化に親しむなど、調和のとれた「人間力」といえます。

そして、社会にでてからもたくましく生きる力を身につけるには、小中学校の児童・生徒を中心に、幼児期から中学校卒業までに育み、地域高校とも協働しながら実践していく必要があります。

併せて、子ども達が夢をもてるような取組みも必要です。いろいろな分野で、多くの夢を実現した諸先輩方がいますし、いろいろな職場を体験することで自分の夢も見えてきます。

「夢に向かい、夢の実現のため自分の道を切り開き、そしてたくましく生きる力を育てる教育の実践」を、飯山市教育の重点の柱として一番に掲げました。

(2) ふるさとを知り、ふるさとを愛する地域に根ざした教育の実践

ふるさとを知り、ふるさとに愛情と誇りを持つことで、高校や大学卒業後に飯山市に住み続けてくれる子ども達が増えると期待されます。

また、一度は都会へと離れても、飯山に帰ってくる子ども達もいます。

こうした子どもを増やすことが、人口減少に歯止めをかける大きな要素となります。

そして、この子ども達の子どもが飯山に思いを寄せることで、ふるさと飯山が守られていくのです。

「ふるさとを知り、ふるさとを愛する地域に根ざした教育の実践」を、飯山市教育の柱の一つとします。

(3) 国際感覚を養い、新しい時代に生きる力を育てる教育の実践

北陸新幹線飯山駅の開業により、交通の利便性が高まるなか、外国からの来訪者が増えてきています。

また、社会全体が国内だけでなく海外に目を向け、グローバルな新しい時代を迎えてきていますので、グローバル化に対応する教育は重要です。

特に英語は早期教育が大事です。義務教育期間中に外国の方と会話をし、他国を訪れたりすることで、生きた外国文化に触れることは子ども達の将来にとって大きな力となるものです。

英語を学び、英語でコミュニケーションを図り、外国文化に触れ、国際感覚を身につけることは、これからの時代に最も必要な能力の一つです。

また、インターネット環境が拡大し、情報化が進むなか、ICTの特性を活かした教育の実践や、ICTを活用するための能力も必要です。

こうした力を育てるため「国際感覚を養い、新しい時代に生きる力を育てる教育の実践」を飯山市教育の柱の一つとします。

(4)個性や多様性を尊重し、共生社会をつくるための豊かな人間性を育てる教育の実践

子ども達一人一人が個性を大事にしながら、違う環境に生まれ・育ち、それぞれの個性があることをお互いに考え、尊重できる社会をつくるためには、義務教育のなかで教え育てることが大事です。

子どもも大人も、「いじめ」や「偏見」のない社会、障害のあるなしに関わらず、生き生きと幸せに暮らせる共生社会を実現させるためには、他人の痛みがわかる思いやりのある豊かな人間性を持った子どもの育成が必要です。

力強く生きる力と併せて、豊かな人間性を育てるための教育は、将来、社会へと巣立つ子ども達にとって重要な要素です。

豊かな人間性を育てるため、「**個性や多様性を尊重し、共生社会をつくるための豊かな人間性を育てる教育の実践**」を飯山市教育の柱の一つとします。

(5)地域・家庭・学校が連携して教育力を高め、地域に学ぶ生涯学習の実践

夢と活力に満ちた住みやすい地域社会実現のため、重点事業として取り組んできた地域コミュニティを高め、ふるさと文化を学び継承する取組は、これからますます大切になります。

新幹線飯山駅と公民館をつなぐ位置に、文化交流館「なちゅら」が整備されたため、こうした取組を進めるための市民交流活動や芸術文化の拠点エリアとして、駅周辺の社会教育施設の総合的活用による柔軟で活発な住民利用を推進していきます。

また、新幹線開業後のおもてなしとして「あいさつ」は重要です。学校と併せ地域の「あいさつ運動」への取組を推進します。

そして、地域の人材活用を進めることで、社会教育の充実を図ることも必要です。

併せて、人権意識の向上、男女共同参画社会づくりを推進し、スポーツ関連団体と人材の育成、生涯スポーツ・スポーツツーリズムの推進等、「**地域・家庭・学校が連携して教育力を高め、地域に学ぶ生涯学習の実践**」を五つ目の柱として取り組みます。

飯山市教育施策体系（具体的施策）

飯山市教育大綱

【5つの柱】

想定される具体的施策等

実現したい目標

1 夢に向かい、自分の道を切り開き、たくましく生きる力を育てる教育の実践

重点項目

夢に向かい自分の道を切り開く
未来への自由な選択を可能とする学力・体力等の向上

学力向上
(小中高連携・授業改善・毎日の課題学習・習熟度別学習・ICTの活用・教員の能力向上
家庭学習の習慣付け)

体力等の向上
(毎日の体力づくり・保小連携による運動力向上(柳沢プログラムの実践))

夢に向かう(各界で活躍する見識者の講演・キャリア教育の充実)

放課後の居場所づくり(児童センター・児童館・児童クラブの充実)

たくましく生きる力を育てる
将来的に社会で通用する基礎的能力の育成

探求力・創造力等の育成(読書習慣付・新聞の活用・ICT等の活用)

表現力等コミュニケーション能力の育成(あいさつ運動推進)

小学校・中学校適正規模等
小学校適正規模及び小中一貫校の研究

学校生活における小学校の適正規模及び小中一貫校の研究

結果

【学力・体力等向上】
学力・体力テストの結果、27年度を「100」としたときの32年度末結果
「以上」

【学校図書貸出数】
年間学校図書貸出冊数(1人当たり)
「冊以上」

2 ふるさとを知り、ふるさとを愛する地域に根ざした教育の実践

ふるさとを知り、ふるさとを愛する(郷土愛)
自然や生活・歴史・文化の学習、
ふるさとの素晴らしさを教える教育の実践

地域を知り、ふるさとを学ぶプログラムの実践

副読本(正受老人物語等)を活用したふるさと学習の推進

ふるさとの素晴らしさを教え、継承する郷土学習の実践(学校・地域・公共施設等)

地域に根ざした教育
地域や人に根ざした教育の実践

コミュニティスクールの充実

地産・地消による食育等の推進

結果

【ふるさと学習】
ICT・副読本等での学習時間
「時間」
歴史・文化的史跡の探求
「全児童」
ふるさと検定受検率
「小学校 %」「中学校 %」
【ふるさと館利用】
ふるさと館年間利用者児童・生徒数
「人」

【コミュニティスクール】
コミュニティスクール実施校数
「9校」

3 国際感覚を養い、新しい時代に生きる力を育てる教育の実践

重点項目

国際感覚を養う
外国の子ども達との交流と英語能力の育成

交流事業 (オーストラリアバーストハイキャンパス、中国深せん外国語学校との交流)

新しい時代に生きる力
ICT 活用能力の育成

英語能力育成 (小中学校 ALT 加配)

ICT スキル向上 (タブレット等導入)

結果

【交流生徒数】
外国語学校交流生徒数
「人以上」
【英語能力】
英検 3 級取得者
「%以上」

【ICT 導入】
タブレット等導入学校数
「校」

4 個性や多様性を尊重し、共生社会を造るための豊かな人間性を育てる教育の実践

個性や多様性の尊重
児童がお互いに個性や多様性を認めあう教育の実践

いじめ・不登校の無い学校づくり (不登校対策支援員配置・心の教室設置等)

子ども達が生き生きと学校生活を送れる環境づくり (学校環境整備等)

特別支援教育
特別支援教育の充実

障害のある子もいない子と一緒に学べる環境づくり (支援員・介護員配置等)

差別・偏見を持たない子ども達の育成 (人権教育の推進)

共生社会をつくるための人間性
共生社会づくりのための豊かな人間性の育成

人に優しく人の気持ちを考え共生する人間性の醸成 (ボランティア活動の推進等)

歴史認識と平和を考える子ども達の育成 (平和学習の実践)

結果

【不登校在籍率】
小学生「0.1%未満」
中学生「1.5%未満」
【学校満足度】
在校児童・生徒の学校満足度
「%以上」

【障害児支援】
支援員等配置
「必要数」

5 地域・家庭・学校が連携して教育力を高め、地域に学ぶ生涯学習の実践

地域コミュニティを高める
公民館を核とした地域コミュニティ活動の推進

飯山雪国大学事業による市民学習の推進

地域づくり・人づくり活動、あいさつ運動の推進

各集落の伝統文化継承活動

ふるさと文化を学び継承する
ふるさと飯山の歴史・文化を学び継承する活動の推進

芸術文化活動の振興と市民参加の強化

公民館、ふるさと館、文化交流館の一体的活用

小菅文化的景観、県史跡正受庵等の文化財の保全整備と活用

人権意識の向上と男女共同参画社会づくり
市民、企業、地域ぐるみの幅広い機会での学習の推進

企業や地域での人権学習会の開催

「飯山市男女共同参画計画」に基づく男女が共に参画できる意識・環境づくり

スポーツやレクリエーションの振興
生涯スポーツ、スポーツツーリズムの推進と人材育成

ジュニアスポーツの強化とスポーツツーリズムの推進

スポーツ関連施設の改修整備とスポーツ関連団体の支援

結果

【利用者・参加者】
公民館利用者数等「人」
【講座等開催】
各種講座等の開催数「回」

【施設利用者】
文教ゾーン施設利用者数「人」

【学習会等開催】
人権学習会等開催数「回」
【市審議会等女性参画率】
「%」

【スポーツ教室、大会参加者】
年間参加者数「人」